

研究・調査報告書

報告書番号	担当
10	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
<p>Body mass index and mortality in women: follow-up of the Canadian National Breast Screening Study cohort.</p> <p>女性における BMI と死亡率の関連について： National Breast Screening Study(NBSS)コホート</p>	
執筆者	
Jain MG, Miller AB, Rohan TE, Rehm JT, Bondy SJ, Ashley MJ, Cohen JE, Ferrence RG	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Int J Obes. 2005. 29(7): 792-7	
キーワード	
BMI 死亡率 コホート研究	
<p>要 旨</p> <p>1980年から1985年にカナダ乳ガンスクリーニング研究コホート National Breast Screening Study(NBSS)に登録した女性 49165 人 (登録時年齢 40 歳から 59 歳) における肥満と死亡率の関係を検討した。平均観察期間は 16.5 年で 2566 人の死亡を確認した。総死亡率は BMI22 以上で直線的に増加を示し、コックス比例ハザードモデルにて検討すると、BMI18.5 から 21.9 を参照 (HR=1.0) とすると BMI18 以下で 1.12、BMI 22-24.9 で 1.15、BMI25-27.9 で 1.28、BMI28-29.9 で 1.34、BMI30-34.9 で 1.3、BMI35 以上で 1.4 と BMI が増加するとともに HR も増加を示した。アルコール摂取量と総死亡率の関連を検討すると、BMI5 あたりの HR はアルコール摂取 0g 群 (1 日あたり) 1.06、1-15 g 群 1.11、15 g 以上群 1.16 (有意差あり) であった。</p>	